

科目名 Course Name	ケアクラーク関連法規 Care Clark						
年次	2	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	久保 由佳						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは火～金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>介護事務職には、介護報酬請求事務の他、コミュニケーションや高齢者・障害者の心理、介護保険制度、介護技術など、幅広い知識が問われている。そのため、介護事務業務に従事するために必要な福祉および保健医療に関する基礎知識と技術を学習する。</p> <p>①高齢者や障害者の心理的特性を踏まえ、コミュニケーション手段を選択し、利用者・家族と円滑なコミュニケーションがとれるようにする。</p> <p>②社会福祉の理念と意義、関連する法制度とサービス体系を説明できるようにする。</p> <p>③高齢者や障害者に応じた基本的な介護ができるようにする。</p> <p>④リハビリテーションの概念や種類、関連職種を説明できるようにする。</p> <p>⑤介護事務職員の業務を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義科目であるが、演習、グループワーク等を取り入れる。介護に関する授業では、疑似体験も行う。						
学習成果	L01						
	L02	介護事務職員として、利用者・家族と円滑なコミュニケーションをとることができる。高齢者や障害者を支える制度やサービス、関連職種について説明することができる。高齢者や障害者に応じた基本的な介護をすることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。						
教科書/参考図書	介護事務講座「介護保険請求実務(テキスト1)」「社会福祉と人間関係(テキスト2)」ニチイ学館 その他、必要に応じて資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	●請求実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの履修者であること。●ケアクラーク技能認定試験合格(資格取得)に向けて、目的意識を持ち、意欲的に取り組むこと。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはメモをとっている。③積極的に取り組んでいる。		40		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	コミュニケーション技術、社会保障制度、老化に伴う変化、介護のあり方等を中心に出題する。		60		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・欠席時の対応・諸注意など) 人間関係とコミュニケーション(人間関係の基礎、コミュニケーションの技法)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。配布資料をノートに転記する。
2	授業内容	高齢者や障害者の心理(心理的特性とその対応)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。配布資料をノートに転記する。
3	授業内容	社会福祉の基礎知識① 理念と意義、社会保障のしくみ(医療保険制度、後期高齢者医療制度)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
4	授業内容	社会福祉の基礎知識② 社会保障のしくみ(国民年金、被用者年金、労働関連の社会保険)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
5	授業内容	老人福祉の基礎知識(老人福祉の法制度とサービス体系、高齢者に対する総合的援助)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。少子高齢化について調べてみる。
6	授業内容	地域福祉の基礎知識(基本理念、推進の基本的な考え方、サービス供給組織とマンパワー)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。地域共生社会の実現に向けて何ができるのか考える。
7	授業内容	ソーシャルワークの基礎知識(ソーシャルワークの基本、相談面接の基本姿勢と視点、実践原則)
	事前・事後学習	対人援助技術に関するテキストの該当ページを読む。
8	授業内容	介護概論(介護の原則、生活障害の理解と生活ニーズ、介護の役割)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
9	授業内容	高齢者や障害者の介護① 基本的介護(食事、排泄、衣服の着脱等)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。配布資料をノートに転記する。
10	授業内容	高齢者や障害者の介護② 障害に応じた介護
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。販売されている介護食にはどのようなものがあるのか、日常生活の中で調べてみる。
11	授業内容	高齢者や障害者の介護③ 福祉用具と住宅改修
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。配布資料をノートに転記する。
12	授業内容	リハビリテーションの基礎知識(概念、種類、チームと専門職、地域リハビリテーション)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
13	授業内容	介護保険制度① 創設の目的、制度のしくみ(保険者と被保険者、サービスの申請)
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。 介護保険制度のしくみの要点をまとめる。繰り返し読んだり、転記したりして覚える。
14	授業内容	介護保険制度② 制度のしくみ(介護保険給付の種類と内容、利用者負担)
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。 サービスの種類と内容をまとめる。繰り返し読んだり、転記したりして覚える。
15	授業内容	介護事務業務(介護事務職員の仕事と役割、介護事業所における個人情報の取り扱い)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。